

# NEWS RELEASE

平成20年10月16日  
国土交通省中部地方整備局長島ダム管理所

1. 件名 ダム堆砂の原因の一つに落雷も!?
2. 概要 長島ダムの奥大井接岨湖カヌー競技場の対岸において、落雷が原因と考えられる非常に珍しい斜面崩落を、確認することができました。  
これによる人的被害はありませんでしたが、貯水池斜面の一部土砂が樹木と共に貯水池に崩落しました。  
又このことから、落雷が斜面崩落の要因であり、且つ、ダム堆砂の進行要因の一つとなることがわかりました。  
一般にダムの堆砂は、洪水のときに上流から運ばれてくる土砂が原因で起こりますが、今回のように堆砂（斜面崩落）の発生要因が落雷であると報告された資料はありません。  
そこで、崩落までの経緯、落雷が原因と考える根拠などを、別紙資料で報告します。
2. 資料 別紙 - 1 長島ダム貯水池斜面の崩落について  
別紙 - 2 落雷が原因と考えられる長島ダム貯水池斜面の崩落
3. 解禁 指定なし。  
現地取材したい場合は、お問い合わせください。  
また、写真データ等についてもお問い合わせください。
4. 配布先 島田記者クラブ、県政記者クラブ
5. 問い合わせ先 国土交通省中部地方整備局長島ダム管理所  
管理所長 菊井 幹男  
管理係長 杉澤 文仁 電話0547(59)1021

## 長島ダム貯水池斜面の崩落について

### 落雷が原因と考える根拠

8月5日午後に局地的な雷雨が発生し、崩落発生箇所の周辺において大きな雷鳴が数回轟いており、長島ダム管理所周辺では落雷後に停電が2回発生、その約4時間後の夜7時過ぎに、ダム湖斜面で土砂が崩れる音が数分間聞こえた。

当時この崩落発生箇所の対岸の地では、ダム貯水池内で松明を灯す『樽流し』と言う神事が行われていたため、土砂の崩れる音を複数の者が聞いている。またこの時は、崩落を引き起こす他の原因となる地震、降雨は無く、風も穏やかであった。

翌日、現場を調査したところ、斜面崩落と共に十数本の大木が貯水面付近まで達しており、一本の大木が縦に裂けるように割れていた。

以上のことから、崩落箇所に生えていた大木に雷が落ちて裂け、これにより不安定になった大木が隣接する大木に寄り掛かるようになり、その後、降雨により緩んでいた地盤が時間の経過で耐えられなくなって崩れはじめ、他の周辺の樹木を巻き込んで土砂と共に崩落したと判断できる（別紙 - 2）。

### 時系列

#### 8月5日

13:28 静岡県中部北で大雨洪水注意報発令

13:30 長島ダム管理所にて、洪水発生に備えた準備体制を設置

14:00 頃 長島ダム管理所周辺に雨が降り始める

・16:00 頃までに累計 32mm の降雨

時々雷光を確認

14:22 長島ダム管理所周辺で落雷音発生後、停電が発生（1回目）

14:41 長島ダム管理所周辺で落雷音発生後、停電が発生（2回目）

17:00 頃 雨が止む

19:00 頃 長島ダム貯水池内で行われていた神事『樽流し』の最中に、日中落雷音があった方向から、ダム湖に土砂が崩れる音を複数の者が聞く。

（闇夜のため、場所特定等の確認ができなかった）

他の発生原因となる地震、降雨は無く、風も穏やかであった。

21:46 静岡県中部北の大雨洪水注意報解除

21:50 長島ダム管理所にて、洪水発生に備えた準備体制を解除

#### 8月6日

10:00 5日の土砂が崩れる音が聞こえた方向の斜面（奥大井接岨湖カヌー競技場の対岸）に新たな崩落があることを発見

15:00 巡視船により現場調査

・崩落箇所に十数本の大木が散乱していた。

・一本の大木が、縦に割れていた。

・約100m<sup>3</sup>の土砂が崩れていた。

・これらの上部に、新たな岩盤むき出しの箇所があった。

・2週間前の写真と比較した結果、樹木・土砂とも上部にあったものが崩落したと判断できた。

# 別紙 - 2 落雷が原因と考えられる長島ダム貯水池斜面の崩落



最近、崩落した倒木  
(15~16本)

最も大きな倒木  
高さ: 約20m  
直径: 約70cm